

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 動的異常翻訳のメカニズムとその病的意義
2. 研究代表者： 森 康治（大阪大学 大学院医学系研究科 講師）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、ゲノム上の反復配列が正常な状態とは異なる仕組みでタンパク質に翻訳される場合において、翻訳を司る分子が反復配列上で動的に翻訳を調節し、病気に関わる多様なタンパク質を生み出す仕組みを明らかにし、リピート関連疾患の複雑な病態の解明に寄与することを目指す。フェーズ 1 では丁寧に実験を進め、精神神経疾患に関わる異常リピート伸張の翻訳のメカニズムを確実に明確にしつつあり、評価ができる。フェーズ 2 で立てている計画は有効なアプローチであり、病態解明を確実に進めることで、将来的な治療戦略に繋がるように進むことが期待できる。臨床応用への道筋を見据えながら着実な成果を上げることで、画期的な研究成果に繋がる可能性に期待する。

以上